

関係各位

**薬局だより**

薬剤部

定例薬事委員会において新規購入薬品等を下記のように決定いたしました。

## 1) 新規採用依頼薬品

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
麻酔科	カイトリル注1mg(薬価:991/管)	1アンプル(1mL):グラニセトロン塩酸塩 1.12mg(グラニセトロンとして1mg)	太陽ファルマ	<p>&lt;抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)&gt;            成人:通常、成人にはグラニセトロンとして40<math>\mu</math>g/kgを1日1回静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、40<math>\mu</math>g/kgを1回追加投与できる            小児:通常、小児にはグラニセトロンとして40<math>\mu</math>g/kgを1日1回点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、40<math>\mu</math>g/kgを1回追加投与できる            &lt;放射線照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)&gt;            &lt;術後の消化器症状(悪心・嘔吐)&gt;            通常、成人にはグラニセトロンとして1回40<math>\mu</math>g/kgを点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日2回投与までとする            成人:通常、成人にはオンダンセトロンとして1回4mgを緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する            小児:通常、小児にはオンダンセトロンとして1回0.05~0.1mg/kg(最大4mg)を緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与及び放射線照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)</li> <li>・術後の消化器症状(悪心、嘔吐)</li> </ul>
腎臓内科 /糖尿病 内科	パルモディア錠0.1mg(薬価:34.10/錠)	1錠:ペマフィブラート 0.10mg	興和	通常、成人にはペマフィブラートとして1回0.1mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大用量は1回0.2mgを1日2回までとする	高脂血症(家族性を含む)

医療安全	ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」(薬価:241/管)	1アンプル(2mL):ニカルジピン塩酸塩25mg	沢井 ①手術時の異常高血圧の救急処置 本剤は、生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として0.01~0.02%(1mL当たり0.1~0.2mg)溶液を点滴静注する。この場合1分間に、体重1kg当たり2~10 $\mu$ gの点滴速度で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。なお、急速に血圧を下げる必要がある場合には、本剤をそのまま体重1kg当たりニカルジピン塩酸塩として10~30 $\mu$ gを静脈内投与する。 ②高血圧性緊急症 本剤は、生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として0.01~0.02%(1mL当たり0.1~0.2mg)溶液を点滴静注する。この場合1分間に、体重1kg当たり0.5~6 $\mu$ gの点滴速度で投与する。なお、投与に際しては1分間に、体重1kg当たり0.5 $\mu$ gより開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。 ③急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む) 本剤は、生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として0.01~0.02%(1mL当たり0.1~0.2mg)溶液を点滴静注する。この場合1分間に、体重1kg当たり1 $\mu$ gの点滴速度で投与する。なお、患者の病態に応じて1分間に、体重1kg当たり0.5~2 $\mu$ gの範囲で点滴速度を調節する。	①手術時の異常高血圧の救急処置 ②高血圧性緊急症 ③急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む)
------	---------------------------------	--------------------------	---	--

2) 変更薬品(在庫なくなり次第)

変更前薬品名

- ・サラゾスルファピリジン腸溶錠250mg「SN」
- ・アシクロビル錠200mg「ファイザー」
- ・イミグラン注3
- ・チエペネム点滴静注用0.5g
- ・クエチアピン錠25・100mg「アメル」
- ・デキストロメトルフアン臭化水素酸塩錠15mg「トーワ」
- ・ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」
- ・ニカルジピン塩酸塩注射液10・25mg「サワイ」
- ・ロピニロールOD錠1・0.25mg「アメル」
- ・エンタカポン錠100mg「アメル」
- ・リザトリプタンOD錠10mg「アメル」
- ・トピラマート錠50mg「アメル」
- ・アロキシ点滴静注バック0.75mg/50mL
- ・アリムタ注射用100・500mg

変更後薬品名

- サラゾスルファピリジン腸溶錠250mg「CH」
- ゴビラックス錠200mg
- イミグランキット皮下注3mg
- チエナム点滴静注用0.5g
- クエチアピン錠25・100mg「明治」
- デキストロメトルフアン臭化水素酸塩錠15mg「NP」
- ミノマイシン錠50mg
- ペルジピン注射液10・25mg
- レキップ錠1・0.25mg
- コムタン錠100mg
- リザトリプタンOD錠10mg「ファイザー」
- トピナ錠50mg
- パロノセトロン点滴静注バック0.75mg/50mL「タイホウ」
- ペメトレキセド点滴静注液100・500・800mg「NK」

3) 削除薬品(在庫なくなり次第随時)

- ・プロゲステンデポー筋注125mg
- ・キョウニン水「ケンエー」
- ・メンタックス外用液1%10mL

: (販売中止による削除)

: (使用量減少による削除)

: (使用量減少による削除)

4) 採用区分変更/剤形変更薬品

【通常採用】→【患者限定】へ変更

- ・トリメプロチンマレイン酸塩錠100mg「トーワ」

【通常採用】→【診療科限定】へ変更

- ・ニカルジピン塩酸塩注射液10mg「サワイ」